

令和2年度日本産農林水産物・食品海外販路開拓緊急支援事業

コロナ補正 海外販路開拓緊急支援事業

セントライ青果株式会社

■概要

対象国	香港
販売期間	1回目 2020年8月6日～2020年10月7日 2回目 2020年12月17日～2021年3月17日
品目	1回目 メロン ぶどう みかん 2回目 りんご かき かんしょ キノコ
実施方法	量販店の店頭における試食宣伝活動
実施店舗	1回目 ①APITA ②UNY ③DONKI 2回目 ①APITA ②UNY ③DONKI (キノコのみ DONKI 3店舗にて実施)

■1回目 活動内容・報告

今回の販売促進活動は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、お客さんのほとんどが地元民であり高級フルーツの売れ行きは芳しくなかった。

しかしながらメロンは中秋節向けの販売はまずまずの売れ行き。

ぶどうにおいてもシャインマスカットは順調に推移。

みかんについてもハウスみかんの動きが良く、これに動機付けされその後の温州ミカン及びその他柑橘類の販売につながった。



■1回目 今後の課題

1. コロナ禍でのメロンの販売方法

⇒今回販売したメロンはマスクメロンと赤肉メロン。

新型コロナウイルスの影響により平時に比べ需要が低下していたものの、店舗にてマネキンによる宣伝活動を実施したことにより、中秋節向け商材は順調に販売ができた。

しかし中秋節以降の販売は伸び悩んだため、定期的に宣伝活動を実施し需要の喚起を図ることが必要だと感じた。

2. ぶどう類(巨峰・ピオーネ)における脱粒の課題

⇒シャインマスカットは品種の特性上、皮と軸がしっかりとくっついており脱粒しづらい。

しかし巨峰やピオーネは皮と軸の接着が弱く脱粒しやすいためクレームが多かった。

本来の巨峰やピオーネであれば種があるため、種によって皮と軸がしっかりと接着しており脱粒の問題は少ない。ただ昨今人気の高いぶどうは種がない品種。ジベリン処理をすることで巨峰やピオーネも種をなくすことは可能ですが、これにより脱粒しやすくなってしまう。

加えて、本年産は気温や長雨の影響により生育状況も芳しくなかったため、品質にも影響しており特に脱粒が多いように感じた。



■2回目 活動内容・報告

1回目に比べ実施した品目が中～低単価の商材であったため影響は少なかったように感じた。
りんごは家庭需要があり、小玉サイズ中心に販売が順調に推移。
かき・かんしょ・キノコについても需要が高く、販売も順調に推移。
とくにキノコは鍋需要もありエノキを中心に人気が高かった。

